

お知らせ



国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
三次河川国道事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成 29 年 2 月 9 日

■同時発表先：島根県政記者会、広島県政記者クラブ、三次市記者クラブ、三原新聞記者クラブ、尾道市記者クラブ、福山市政記者クラブ、府中市役所記者クラブ

大雪に対する道路利用者への呼びかけ

9日から12日頃にかけて、強い冬型の気圧配置となる影響で、西日本の日本海側を中心に大雪となる見込みです。

広島・島根県内では、9日～12日にかけて大雪となり、平地でも積雪のおそれがあります。

尾道松江線（三次東JCT・IC～三刀屋木次^{みとやきすき}IC）では、大雪に伴う立ち往生車両等の発生を事前に防止するため、早めの通行止めを行うことがあります。

また、その他の区間においても、降雪状況等により通行止めを行う場合があります。

○大雪に関する気象情報

http://www.jma.go.jp/jma/bosaiinfo/snow_portal.html

○道路情報

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/its/PAGE2/index.html>

平成29年2月8日 国土交通省、気象庁の連名により別紙参考資料のとおり大雪に対する緊急発表を行っています。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所
(広島県 三次市十日市西6丁目2番1号)

【担当】 副所長 貞任 俊典 (さだとう としふみ)

道路管理課長 藤本 悟 (ふじもと さとる)

【広報担当】 調査設計課長 砂堀 松男 (すなぼり まつお)

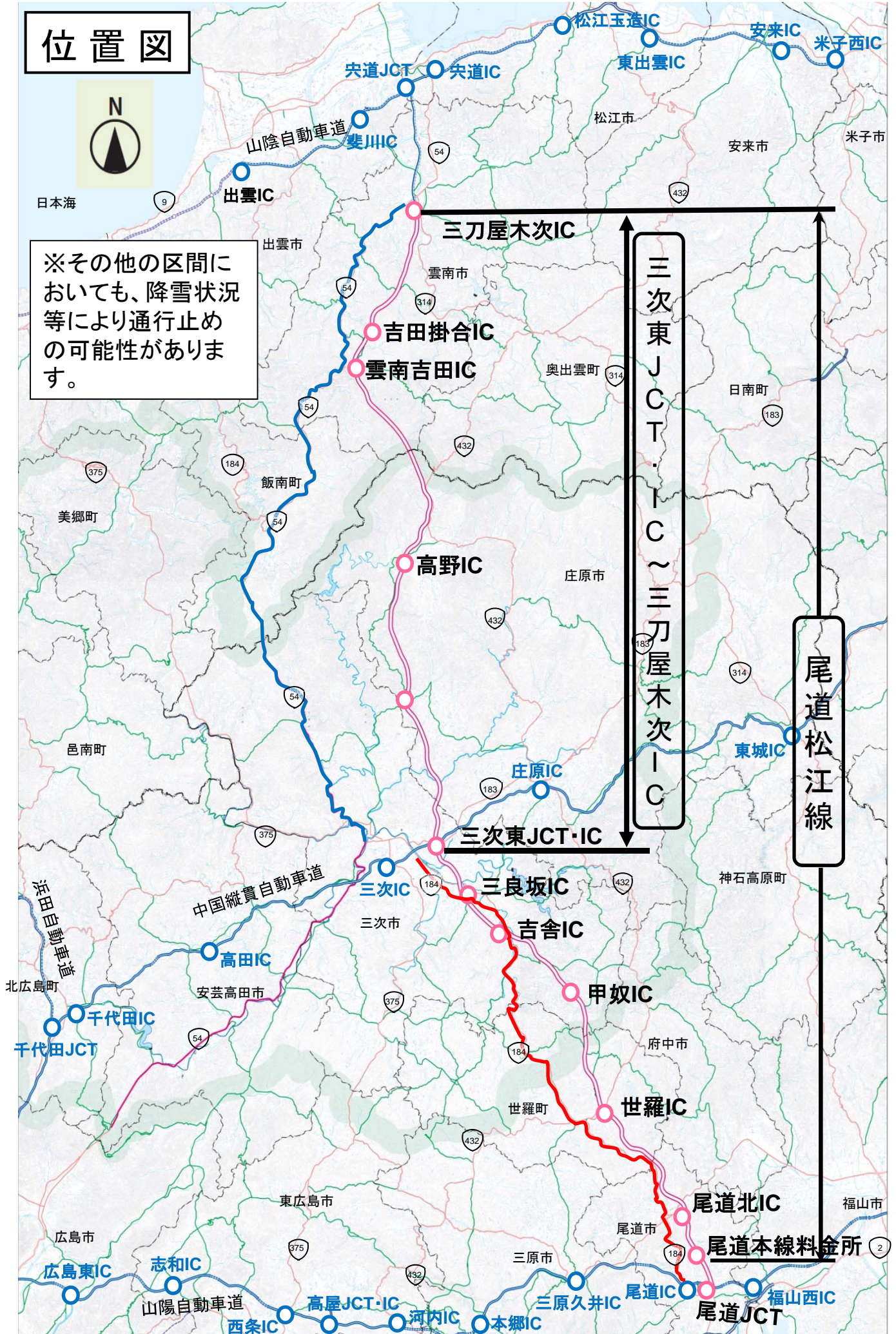
TEL : 0824-63-4121 (代表) FAX : 0824-64-2240

位置図



日本海

※その他の区間においても、降雪状況等により通行止めの可能性があります。



気象庁同時発表

平成29年2月8日
水管理・国土保全局防災課
道路局 国道・防災課
気 象 庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

9日からの大雪に備え、下記のとおり、ドライバー等の皆様への呼びかけについてお知らせします。

- 9日から12日頃にかけて、強い冬型の気圧配置となる影響で、西日本の日本海側を中心に大雪となる見込み。普段雪の少ない西日本の太平洋側や東海地方の平野部でも積雪のおそれ。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着をお願いします。

※別添もご参照ください

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

防災企画官 田中 克直 (内線35762)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8461

FAX 03-5253-1608

(気象の見通しに関すること)

気象庁 予報部 業務課 気象防災情報調整室

室長 千葉 剛輝 (内線3105)

TEL 代表 03-3212-8341

直通 03-3211-8302

FAX 03-3284-0180

(道路に関すること(類似の被災事例・現場の対応状況))

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室

企画専門官 志々田 武幸 (内線37812)

課長補佐 今田一典 (内線37662)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8489

FAX 03-5253-1620

- 9日から12日頃にかけて、強い冬型の気圧配置となる影響で、西日本の日本海側を中心に大雪となる見込み。普段雪の少ない西日本の太平洋側や東海地方の平野部でも積雪のおそれ。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控える**とともに、やむを得ず**運転する場合には、チェーンの早めの装着等**をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

【1. 今後の気象の見通し】 8日17時00分時点

＜大雪に警戒が必要な時間帯＞

	9日	10日	11日	12日
	朝 昼 夜	朝 昼 夜		
関東地方北部 甲信地方		←————→		
北陸地方		←————→		
東海地方		←————→		
近畿地方		←————→		
中国地方		←————→		

大雪: ←→

10日18時までの24時間に予想される降雪量は、いずれも山沿いの多い所で、

- 関東地方北部・甲信地方 30～50センチ
- 東海地方 40～60センチ
- 近畿地方 50～70センチ
- 中国地方 60～80センチ

その後、日本海側では西日本を中心にさらに降雪量が増える見込み。

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。

(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

【2. 過去の大雪における立ち往生事例】

平成29年1月22日から平成29年1月25日にかけての大雪

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約600台＞

○平成29年1月22日から平成29年1月24日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置になり、特に23日から24日は上空に強い寒気が流れ込みました。この影響で、山陰や近畿北部では、22日から24日にかけての累積降雪量が100センチを超えるなど、西日本から北日本の日本海側を中心に大雪となった。

○米子自動車道や鳥取自動車道等で、合計約600台の大規模な立ち往生が発生しました。
○車両の移動および通行止め解除に約2日を要しました。



岡山県西粟倉村付近の立ち往生発生状況
平成29年1月25日(水)

【3. 整備局など現場の対応状況】

○各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。